

## 人権教育は全ての教育の基本

現状・課題

### 【県教育振興基本計画での数値目標】

自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合  
→ **80%以上**

現状 小学校:79.2%, 中学校:72.2%(「R1全国学力・学習状況調査」児童・生徒質問紙調査結果)

重点目標

「人権教育は全ての教育の基本である」という認識の下、自他の大切さを認めることができる子どもたちを育成する

令和3年度は、より効果的な研修が実施できるように、「仲間づくり」の内容を盛り込んだ新たな人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会『陽だまり』」として発行しています。日々活用を！

### ◎チーム学校で取り組む人権教育

- I 人権尊重の精神に立つ学校づくり
- II チーム学校で取り組む人権教育
- III 人権が尊重される環境づくり

### ◎自殺予防教育を支える人権教育

- 1 我が国の自殺の実態と児童生徒の自殺をめぐる状況
- 2 児童生徒の自殺対策の動き
- 3 自殺予防教育に係るワークシート集

### ◎教職員のためのデジタル研修教材

◇ 教職員の資質・能力を高めるe-コンテンツ！

右記内容を掲載してあります！

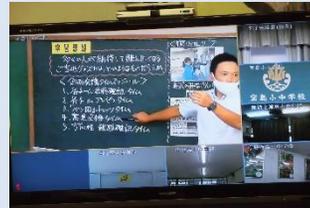


## 鹿児島地区指定研究協力校授業公開

十島村立小・中学校の地区研究協力校については、これまで紙上发表という形で研究の成果を発表してきましたが、今年度から「授業公開」という形での発表を行うこととなりました。

9月30日(木)に十島村立平島小・中学校が「総合的な学習の時間」の授業を10月15日(金)に十島村立悪石島小・中学校が「外国語科」の授業を公開しました。十島村の全小・中学校及び十島村教育委員会をリモートで結んだ授業研究においては、とても活発な意見交換がなされ、大変充実した授業公開となりました。

授業公開の詳細については、令和3年度鹿児島地区教育論文・教育実践記録集「波動」第33号に掲載する予定です。



【授業の様子(平島小・中学校)】



【授業研究の様子(平島小・中学校)】



【教育長挨拶(悪石島小・中学校)】



【授業研究の様子(悪石島小・中学校) 十島村以外の学校等からも参加】

## 鹿児島地区ステップアップ研修

9月29日(水)鹿児島教育事務所管内の小・中・高等学校及び特別支援学校に所属する5年経験者の教諭を対象として鹿児島県総合教育センターにて実施しました。また、十島村立小・中学校に所属する教諭は、Web会議システムを利用しました。

鹿児島教育事務所山鹿指導課長による講話や、カリキュラム・マネジメントに関する講義・演習等を通して教育の今日的課題についての理解を深めるとともに、その対処について考えを深めることができました。



【山鹿指導課長による講話】



【Web会議システム活用の様子】

## チャレンジかごしま

令和3年度「体力アップ!チャレンジかごしま」(前期)の各実施種目のランキングが発表されました。本地区の多くの小・中・義務教育学校が上位にランキングされました。

本事業は運動習慣の育成や体力の向上を図り、仲間と楽しく運動に取り組むことでよりよい人間関係を育成することを目的としています。授業や業間、昼休み、放課後等の時間を使って積極的に取り組みましょう。また、学校行事に位置付けたり、授業の単元の特性に合わせて、種目を取り入れたりすることも可能です。

仲間と共に様々な運動に取り組みせ、運動有能感を高める工夫を行うことで、運動好きな児童生徒の育成が期待できます。



## 日置地区中学校駅伝競走大会

9月30日(木)、吹上浜公園陸上競技場周辺コースにおいて、日置地区中学校駅伝競走大会が開催されました。本大会は県大会出場への予選も兼ねており、白熱した大会となりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら大会運営なされていました。

当日の気温は高く厳しい気象条件の中でのレースで熱中症等も心配されましたが、全ての学校が男女とも襷をつなぐことができました。

【結果】	〔男子〕	〔女子〕
第1位	東市来中学校	伊集院中学校
第2位	伊集院中学校	伊集院北中学校
第3位	伊集院北中学校	東市来中学校

## 教育論文募集

昨年度の教育論文・教育実践記録審査には280点を超える応募がありました。

日々の授業実践や計画的・継続的な研究を振り返り、まとめることで成果や課題を確認することができます。また、「目標—計画—実践—検証」のサイクルに基づいた指導方法の改善・充実にもつながります。積極的に取り組んでいきましょう。

- ・形式 教育論文の部：A4判6枚以上10枚以内  
教育実践記録の部：A4判4枚程度
- ・応募締切 令和4年1月11日(火)

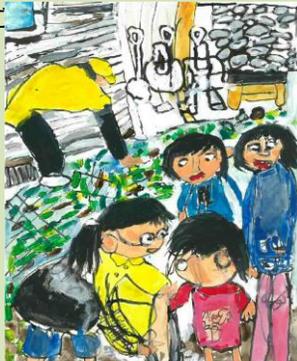


## 地域が育む「かごしまの教育」県民週間

本県では、学校・家庭・地域社会のより一層の連携と協力の下に、県民一人一人が鹿児島県の教育について考える気運を高め、教育の充実と発展を図ろうと、11月1～7日を地域が育む「かごしまの教育」県民週間として

います。今年度もこの週間を中心に、各校が工夫し新型コロナウイルス感染症対策をとった上で保護者・地域住民への学校開放や自由参観等開かれた学校づくりに取り組みます。

右の絵画は、県民週間ポスター原画コンクールにおいて入賞した作品です。



十島村立諏訪之瀬島小4年 辻幸奈さん

## コアティーチャーネットワークプロジェクト

日置市といちき串木野市26人の委員の先生方が、諸学力調査における設問の要素を取り入れた授業について、協議を重ね、モデル指導案等を作成しました。



一昨年度までは、本プロジェクトで得られた成果をオープンサポート教科フオーラムとして学校での授業公開にて還元してきましたが、今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス拡大防止のため授業動画の配布、かごしま学力向上Webシステム及び教育事務所ホームページへの掲載等の方法で還元していきたいと考えています。多くの学校で有効に活用されることを期待しています。

## 涼風

「らしさ」について

鹿児島県教育事務所 総務課長 伊瀬知 義弘

令和三年十月現在、本県の新型コロナウイルス感染症状況は、一時の非常事態を乗り越え、予防接種も進んでいるが、未だに人の素顔を見ることができないマスク社会が続いている。何人(なんびと)も、大切な生命を守り続けてほしいと切に願うところである。

さて、研修推進者として位置付けられている私は、県内全ての所属がそうであるように、毎年職場研修を実施しているのだが、その都度、人権に関する分野で深く自分を見つめ直す思いに駆られる。

私には、二歳になる娘がいる。髪の毛のせ毛具合までも私にそっくりで将来が申し訳ない気もする(笑)。最盛期をとうに過ぎた体に鞭打って、公園の遊具の間をかくぐぐる休日を送っている。その娘であるが、誰が勧めた訳でもないのだが、山のように積んである玩具から手に取るものは、青色の物が多い。店先での買い物でも、好きな物を選ばせると、青を選ぶ。だから履いている靴も青色で、パトカーや消防車、救急車の刺繍が入っており、乗り物も好きなようである。反面妻は、「女のらしさ」色(いろ)の服を買い与えて着せている。私としては、暖色と寒色どちらも微笑ましく見ているのだが、もう少し成長した当の本人は、どのような色を好むのだろうか。これからは楽しみである。

「男らしさ、女らしさ」という表現の使い方が、課題となっている。それはなぜか。「ジェンダー・トランキング」と呼ばれる性別の違いによってこうあるべきといった考え方の押し付けが原因であるという。今更ながら、これまで培ってきた常識観が全て崩れ去る感じである。先ほど、研修の都度自分を深く見つめ直すこと書いたが、もし明日、自分がスカート履いて出勤したら、周囲はどのような反応を示すだろうか、などと考えるのである。考え方がまだまだ浅い私は、意識もまだまだ低いなど反省することしきりだ。そのため、この紙上でテーマとして取り上げたのにもかかわらず最適な結論を導き出すことはできないが、事あるごとに自分に問いただす機会を設けることは、非常に重要であると思う。

実は、前から試してみたいと思っていたことがある。それは、桃色のマスクを装着したら、自分の感覚がどう変わるか、周りの反応はどうなのか、ということである。次回の研修の参考にできないかと考えているのだが、なかなか自分にとっては思い切りが必要である。実行するに至っていない。やはり、まだまだ未熟者である。